OLS：osteoporosis liaison service（骨粗鬆症リエゾンサービス）

OLSかわら版

年2回発行

第 1 号

2017年
2月28日発行

CONTENTS

発刊にあたって p1
OLS 活動奨励賞 p1
骨粗鬆症マネージャー活動アンケート結果 p2
学会からのお知らせ p3

編集・発行：日本骨粗鬆症学会　〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 5-7 トウセン小舟町ビル 3F　TEL 03-5645-8611 FAX 03-5645-8612　制作：（株）メディカルレビュー社

発刊にあたって

骨粗鬆症マネージャーのための情報紙『OLS かわら版』創刊号をお届けします．

日本骨粗鬆症学会では骨粗鬆症診療の新しい取り組みとして骨粗鬆症リエゾンサービス（Osteoporosis Liaison Service：OLS）を開始しました．OLS で中心的な役割を担うのが骨粗鬆症マネージャーです．2012 年 9 月に第 1 回の骨粗鬆症マネージャーレクチャーコースを新潟で開催してから 4 年あまりが経ちますが，この間に学会の資格認定を受けた骨粗鬆症マネージャーは 1,000 人以上に達し，日本全国でマネージャーの方々が活躍する時代に突入しています．本紙は各地の医療施設や地域で骨粗鬆症の治療や啓発に当たっていただいているマネージャーに役立てていただけるツールとなることを目的に，日本骨粗鬆学会骨粗鬆症リエゾンサービス委員会ワーキンググループが中心に企画・刊行しました．

リエゾン（liaison）は「連絡係」，「連絡窓口」，「つなぎ」と訳されるフランス語で，リエゾンサービスはコーディネータ（リエゾン）が中心となって実施するシステムです．1990 年代に英国で開始された骨折リエゾンサービス（FLS）では，脆弱性骨折を発症した骨粗鬆症例に対する二次骨折予防が主たる取り組みでした．コーディネータが骨折患者を見つけ出し，骨折リスクを評価し，骨折予防を実施することで，とても効率的な骨粗鬆症治療が可能となりました．一方，わが国で進められている OLS は脆弱性骨折予防という点は FLS と同じですが，骨折患者のみではなく診療所や地域での一次骨折予防もその活動に包含します．そこでマネージャーの職種も看護師が 50％，理学療法士が 19％，薬剤師が 18％と多職種におよび，活動の場も急性期病院のみではなく，診療所や地域までと広範囲です．したがって日本中で OLS を推進しているマネージャー同士の情報交換が欠かせません．本紙がそんな骨粗鬆症マネージャーのための“リエゾン”の役割を果たすことを願っています．

OLS―ワーキンググループ長／鳥取大学医学部 保健学科　**萩野　浩**

注）「骨粗鬆症マネージャー」「骨粗鬆症リエゾンサービス」および OLS ロゴマークは一般社団法人日本骨粗鬆症学会の登録商標です．

OLS活動奨励賞

「地域医療連携で取り組むリエゾンロコモ予防」

名古屋第二赤十字病院薬剤部 薬剤管理指導課／八事整形医療連携会／ NPO 法人 名古屋整形外科地域医療連携支援センター
田宮 真一

はじめに

八事整形医療連携会は，2002 年に名古屋市八事（やごと）地区周辺の多施設間連携活動を目的に，多職種からなるスタッフによって発足した．本会はリエゾンロコモ予防にも早期から取り組んでおり，その活動を今回 OLS 活動奨励賞として評価いただいた．本稿では，活動内容とちょっとした小話をご紹介したい．

連携パス

そもそも会設立の目的が今で言う地域包括ケアを指向したものであったため，本会の連携パスは治療の経過のみならず転倒予防・骨粗鬆症予防を組み込んだものとなっている．運用にあたっては，いくつかパンフレットを作成し適宜使用する形をとっている．

骨粗鬆症治療薬の継続は OLS 活動において重要であるが，パスを利用すると便が良い．一度現在ご使用中のパスを見直してはいかがであろう．

また本会はパスに限らず，各種パンフレットを作成して共用するという手法を多用している．パンフレット運用には以下のようなメリットがある．

①参加施設で共用することで，患者に治療のみならず地域ケアにおいても均質かつ継続したフォローを実感していただける
②患者の手元に残ることによって繰り返しの利用が期待でき，予防医療の浸透の一助となる

市民公開講座

一般向けの啓発活動を目的に 2008 年に分科会「八事あしの健康教室」を立ち上げ，2013 年には「八事ロコモ健康教室」と改称，運動器全般をテーマに市民公開講座を行っている．報道機関などの協力を得て広く告知し，常に多職種の講師で開催している．

改称後の新たな試みとしては「八事ロコモ健康手帳」（**図**）を作成し，参加者の身体状況をスタッフが記載して配布する活動を始めた．経時変化を追う形式にすることで，繰り返しの参加を促し生活習慣の改善を継続していただくことを目的としている．手帳の内容としては各分野の基礎知識やロコモ度テストの結果，FRAX® の骨折確率値のほかに，サルコペニア予防の観点から筋力量・握力・歩行速度なども計測して記載している．

教育推進活動

連携施設に直接赴き繰り返し医療職向けの勉強会を行っているほかにも，地域連携を中心に多種多様なテーマを取り上げて（**表**），年 2 回の合同勉強会を開催している．生活期を担う施設の参加者が年々増加しており，活動が地域に根付きつつある．

NPO 法人設立後は，有料老人ホームへの出張公演や看護協会などの各種専門団体での出張活動，県の委託業務請負など教育活動の場を拡げている．

これらの活動は地域の仲間と顔を繋ぐ重要な活動と考えている．まずは地域の骨粗鬆症マネージャー同士で連絡を取り合うことから始めてはいかがであろう．

おわりに

OLS 活動のアドバイスというにはおこがましいが，簡単に本会の活動を紹介させていただいた．施設の骨粗鬆症マネージャーとしては，他診療科と協力したスクリーニング活動などにも取り組みたいが，なかなか進展せず，筆者も悩みながら活動している．本紙に紹介される皆様の活動を参考にしながら今後も精進したい．

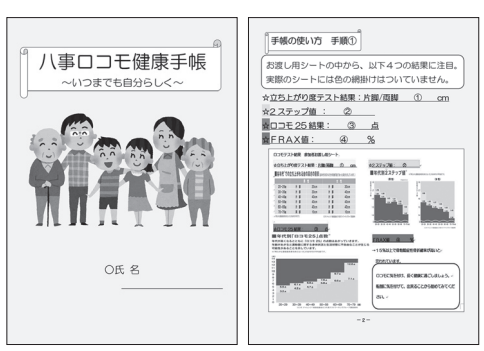


図　八事ロコモ健康手帳

	テーマ	ミニレクチャー
第 40 回	フレイルを考える	
第 39 回	地域連携における骨粗鬆症治療を考える	平成 28 年診療報酬改定のポイント
第 38 回	運動器の慢性疼痛	
第 37 回	地域における転倒予防と骨粗鬆症予防	OLS について
第 36 回	地域包括ケア	在宅医療福祉連携事業
第 35 回	急性期病院の役割	2025 年を見据えた診療報酬改定
第 34 回	ロコモサイコソマ	生活期施設が連携会に加わる意義
第 33 回	転倒予防教室の実践	NPO と地域医療連携センターの役割
第 32 回	大腿骨頚部骨折地域連携パスの実践報告	東名古屋病院の現在と将来計画
第 31 回	骨粗鬆症ガイドライン 2011	平成 24 年診療報酬介護報酬改定について
第 30 回	大腿骨頚部骨折地域連携パス改定ワークショップ	

表　八事整形医療連携会の最近のテーマ

骨粗鬆症マネージャー活動アンケート結果

日本骨粗鬆症学会ではOLS活動の担い手として骨粗鬆症マネージャーの認定制度を設立し，2015年4月1日に第1期認定者が誕生，活動を開始いただいています．

しかし，骨粗鬆症マネージャーの方から「何をどのように活動していったら良いのか？」といった具体的な活動方法に関する問合せをいただいていることから，認定後半年を経過した第1期骨粗鬆症マネージャーの活動状況などについてアンケートを実施しましたのでその結果を報告します．

1．アンケート実施概要

①実施期間：2015年11月～12月

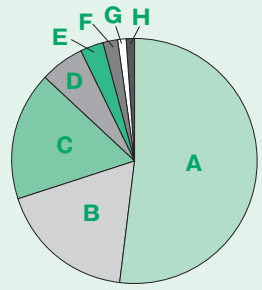
②対象：日本骨粗鬆症学会骨粗鬆症マネージャー
第1期認定者678名

③回答：357名(53%)

●性別：女性72%
男性28%

●職種：

A	看護師(含保健師)	52%
B	薬剤師	18%
C	理学療法士	17%
D	診療放射線技師	6%
E	管理栄養士	3%
F	作業療法士	2%
G	臨床検査技師	1%
H	社会福祉士	1%



性別，職種別の比率は骨粗鬆症マネージャー全体の分布とほぼ同様であった．

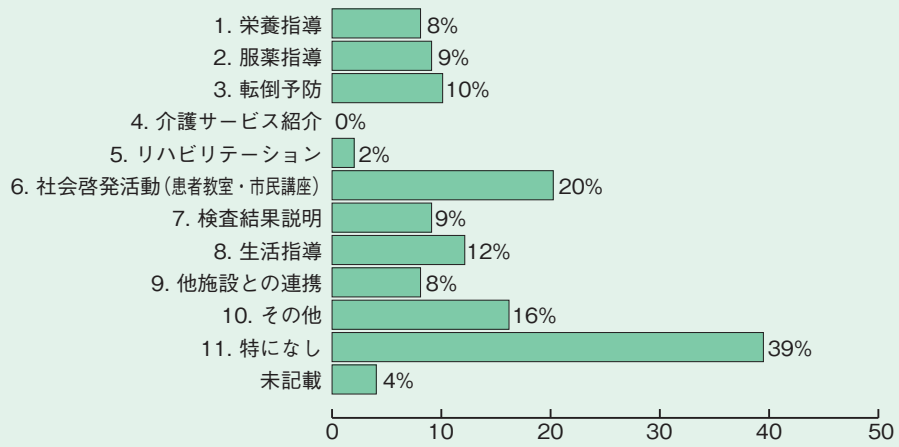
2．アンケート結果

【Q1】

あなたが骨粗鬆症マネージャーとなって新しく始めた事業はありますか．（複数回答可）

【A1】

骨粗鬆症マネージャーとして新たな業務が開始できていない「11．特になし」が39%と一番多かった．活動としては「6．社会啓発活動(患者教室・市民講座)が20%と一番多く「8．生活指導」12%，「3．転倒予防」10%の順で多かった．「10．その他」16%の内容としては「患者リスクファクター評価」5%，「多職種連携活動推進(院内活動や連携手帳作成等)」4%が多く，患者評価や多職種連携等活動の幅を広げつつある状況もうかがえた．

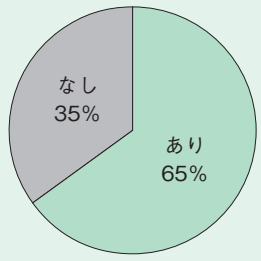


【Q2】

同じ施設内で他の職種との連携がありますか．

【A2】

施設内での他の職種との連携は約2/3が行っていた．

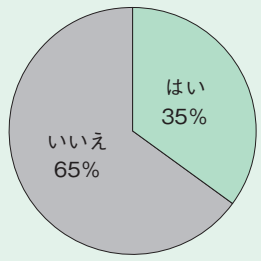


【Q3】

あなたはOLSを提供するチームを作って活動していますか．

【A3】

施設内で認められたチームを作って活動を行っているのは約1/3にとどまっていた．



【Q4】

チームを作っている場合その構成メンバーは何人ですか．

【A4】

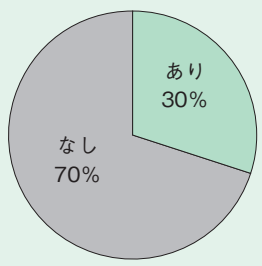
回答は2名から26名と幅が大きく，多くは2名から10名で平均は6名であった．

【Q5】

他の施設との連携がありますか．

【A5】

他の施設との連携も3割程度にとどまっていた．



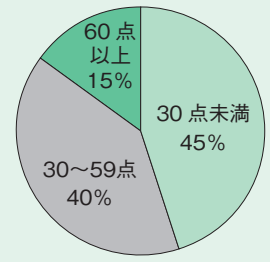
【Q6】

現在のあなたのOLSにおける活動は100点満点にすると何点ぐらいだと思いますか．

【A6】

60点以上の回答は15%にとどまり，30点未満が45%もみられた．

認定後の半年経過時点ではあるが，満足いくOLS活動ができていないと考えている方が多数いることがうかがえた．



【Q7】

今後OLS活動を行うにあたって必要な情報がありますか．
（複数回答可）

【A7】

他の骨粗鬆症マネージャーの活動状況を知って，現在手探りで進めている自分の活動の参考としたいとの要望が圧倒的に多かった．

	人数	比率
他の骨粗鬆症マネージャーの活動の様子	317	90%
最新の骨粗鬆症診療の情報	256	73%
研修会開催の案内	254	72%
骨粗鬆症学会の情報やトピック	165	47%
国際骨粗鬆症財団のFLSの情報	53	15%
その他	15	4%

【Q8】

今後 OLS 活動を行うにあたって必要なサポートがありますか.（自由記載）

【A8】

一番多かったのは「OLS 活動情報共有化 / 共有化できる場が欲しい」との要望で A7 の回答と同じであった.
次には「OLS 活動の認知度向上」「OLS 実施者 / 協力者の広がり」の順で多く，実際の活動に対する現場での理解や協力への要望であった.

骨粗鬆症マネージャー活動アンケートから見えてきたこと

OLS ーワーキンググループ委員／あさひ総合病院 整形外科
中藤 真一

骨粗鬆症リエゾンサービスが開始され 1 年半が経ちました．第 1 期，第 2 期を合わせて 1,000 人あまりの骨粗鬆症マネージャーが全国で活動を始めております．その中で，新しい事業展開を始められた方が 6 割にも及びました．活動内容では，「社会啓発活動」が最も多く，各マネージャーが病院や診療所の枠を越えて地域社会でも活躍を始めていることがうかがえます．また，「栄養，服薬，生活指導」などの各職種の専門性を活かした患者介入もされており，骨粗鬆症患者への多角的アプローチが行われていると思われます．施設内では，他職種との連携が 65％で行われていますが，チーム作りや他施設との連携となると行われているのは 30％あまりにとどまっており，これらを今後伸ばしていくことが期待されます．今回，自己採点では 60 点以上をつけた人は 15％にとどまり，45％の人は 30 点未満でした．少し辛口な評価ではないかと思いますが，まだまだ満足いく活動がされていない実情を表していると思われます．90％のマネージャーが他のマネージャーの活動の様子を知りたがっている現状から，今後はこの「OLS かわら版」などを通してマネージャー同士の横の関係を密にできるような情報提供・情報共有が必要と思われました.

学会からのお知らせ

●「OLS のひろば」投稿募集

OLS かわら版に「OLS のひろば」欄を設け，骨粗鬆症マネージャーや当学会認定医の方々から OLS 活動に関する情報を募集し，短信として掲載します．他の OLS 活動を行っている方々に伝えたい経験／情報／ご意見をお待ちしています．
投稿は，投稿内容と「氏名」「会員番号」「所属施設」「e メールアドレス」を記載の上，下記住所に郵送あるいは下記メールアドレスに e メールにて「OLS のひろば投稿」と題してお送り下さい.

住所　〒 103-0024　東京都中央区日本橋小舟町 5-7 トウセン小舟町ビル 3F
日本骨粗鬆症学会事務局
メールアドレス　osteo@josteo.com

●ホームページ活用法

＊「ホームページでの認定更新用単位付与講演会開催案内の確認方法」
認定医および骨粗鬆症マネージャーの単位取得可能な講演会情報は下記の URL に掲載されていますので，随時ご確認下さい.
日本骨粗鬆症学会認定医：http://www.josteo.com/ja/specialist/renew.html
骨粗鬆症マネージャー：http://www.josteo.com/ja/liaison/authorization/renew.html

＊「お知らせ」
・関連重要学会／講演会，WEB セミナー等の開催予定のお知らせ
・OLS 活動奨励賞や研究奨励賞募集のお知らせ

＊「お知らせ」以外に下記情報も役立つと思います.
・関連海外学会である IOF（世界骨粗鬆症・骨関節炎・筋骨格疾患会議）と ASBMR（米国骨代謝学会会議）のハイライトスライド日本語訳版
（2015 年分より掲載されており，それぞれパワーポイント 160 ～ 250 枚程度）
http://www.josteo.com/ja/index.html　ページの下段中列
国際学会ハイライトスライド（日本語訳）
・当学会雑誌 JJOS のコンテンツを下記 URL より PDF でダウンロードできます.
http://www.josteo.com/ja/jjos/index.html

学会からのお知らせ

Osteoporosis® Liaison Service

● 2017年骨粗鬆症マネージャー認定に関するスケジュール／注意事項

＊2017年の認定申請より骨粗鬆症学会学術集会への参加歴が必要となりますのでご注意下さい.
2017年は10月に大阪国際会議場で開催予定. http://www2.convention.co.jp/19jos/

＊スケジュールの概要は以下を予定(詳細は決定次第ホームページお知らせに掲載).

骨粗鬆症マネージャーレクチャーコース開催

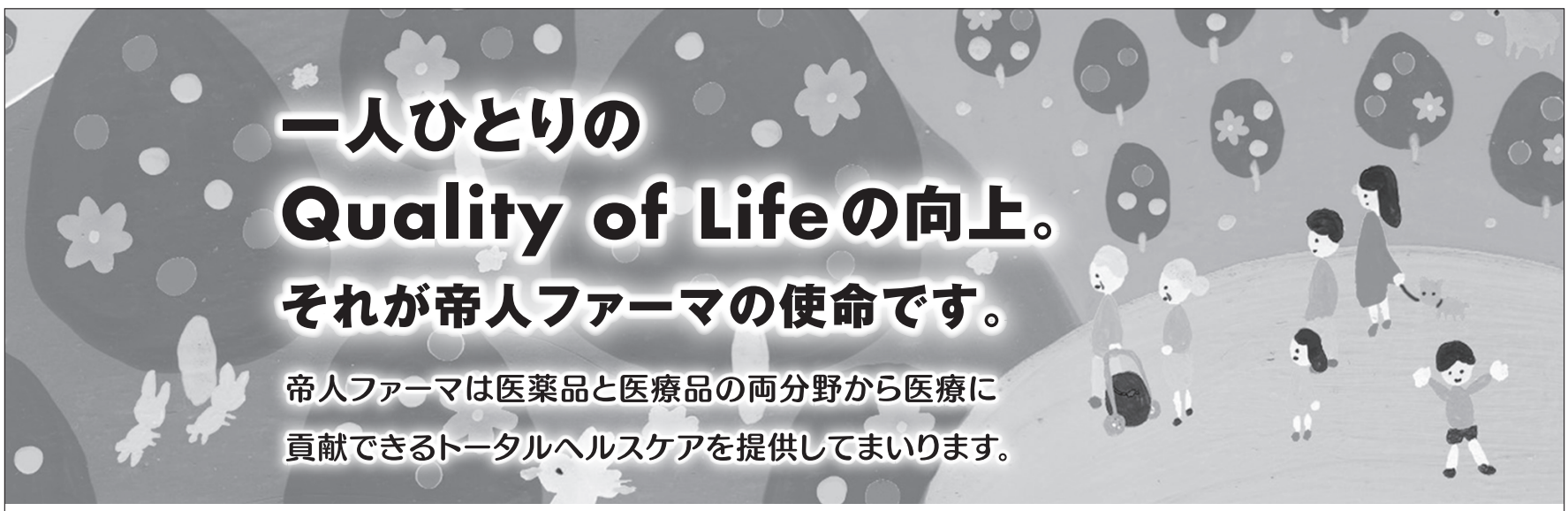
3月12日(日)　明治大学駿河台キャンパス(東京)　→受付終了
10月22日(日)　大阪国際会議場(学術集会時)　→7月中旬頃受付開始予定

骨粗鬆症マネージャー認定申請

→8月上旬頃より受付開始予定

認定試験

→11月中旬～12月に東京で実施予定



帝人ファーマ株式会社　〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1(霞が関コモンゲート西館)　http://www.teijin-pharma.co.jp/

骨粗鬆症治療剤(活性型ビタミンD3製剤)
劇薬　処方箋医薬品注)
薬価基準収載
エディロール® カプセル 0.5μg 0.75μg
EDIROL®
エルデカルシトールカプセル
注) 注意－医師等の処方箋により使用すること
®中外製薬株式会社登録商標

※「効能・効果」、「用途・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等詳細については、添付文書をご参照ください。

製造販売元　〔資料請求先〕
中外製薬株式会社
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1
Roche ロシュ グループ

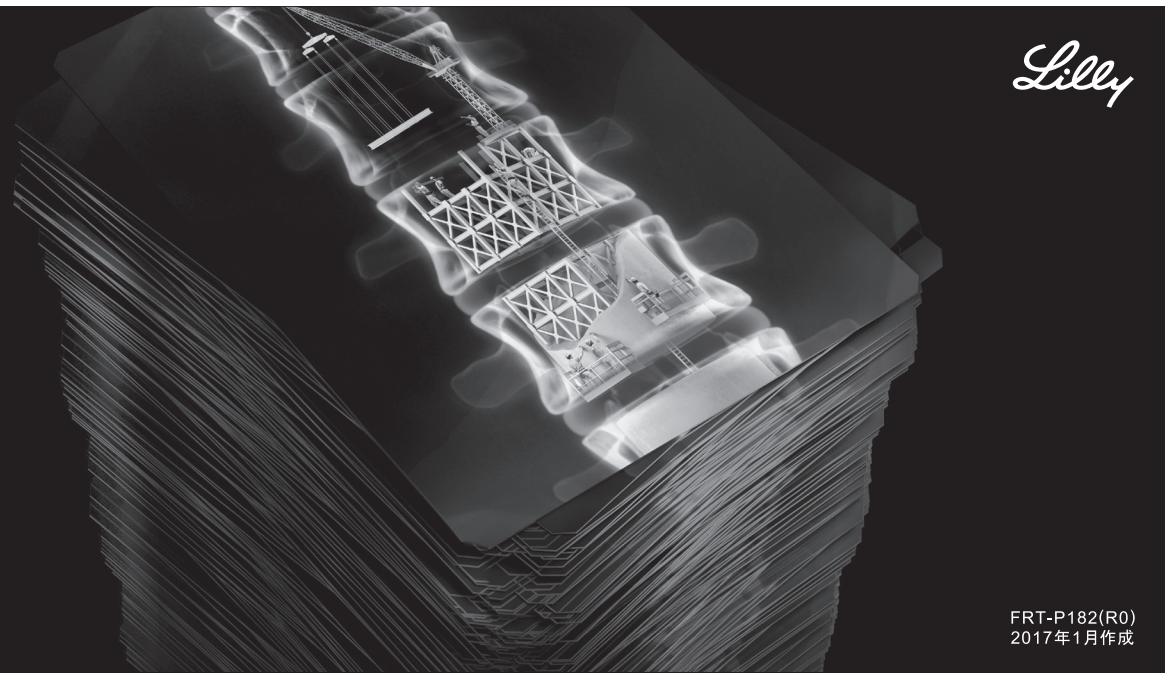
発売［資料請求先］
大正富山医薬品株式会社
〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1

2016年12月作成

フォルテオ®
皮下注キット600μg
テリパラチド(遺伝子組換え)注射剤
骨粗鬆症治療剤
処方箋医薬品　薬価基準収載
(注意－医師等の処方箋により使用すること)

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

<資料請求先>
日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号



FRT-P182(R0)
2017年1月作成